

第3章 調査票

高齢者の保健・福祉に関するアンケート

《アンケートご協力についてのお願い》

日頃から、本市の市政運営にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、高齢者やそのご家族の方々が地域の中で安心して暮らし続けていくことができるよう「いきいき長寿プランふじさわ2017～藤沢市高齢者保健福祉計画・第6期藤沢市介護保険事業計画～」に基づき、各種の施策を行っております。

このたび、この計画の見直しにあたり、皆さまのご意見、ご要望等を把握させていただきたく、65歳以上の方を対象に「高齢者の保健・福祉に関するアンケート」を実施する運びとなりました。

つきましては、今後の高齢者施策を推進していくにあたり、お手数をおかけして大変恐縮ではございますが、アンケートにご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、このアンケートは無記名方式とし、どなたが回答したかは特定できないようになっております。また、お答えいただいた内容は、この調査の目的だけに利用し、秘密の保持には万全を期しますので、率直なご意見、ご感想をお寄せください。

2016年(平成28年) 11月

藤沢市長 鈴木 恒夫

《アンケートご記入にあたってのお願い》

- このアンケートは、10月1日現在、藤沢市内にお住まいの介護保険制度の要介護・要支援の認定を受けていない方で65歳以上の方のうち、無作為に抽出した3,000人の方にお送りしています。

※アンケートが届いた時点で、介護保険制度の要介護・要支援認定を申請中の方は、下記に印をして、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、ご投函ください。(以下のアンケートの回答は不要です)

介護保険の要介護・要支援認定を申請中

- お答えの○印は、番号を囲むように濃くつけてください。(例)①・2・3
「その他」を選択された場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
- 原則、現時点での状況を、宛名のご本人がお答えください。
- ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、**12月5日(月)までに**ご返送ください。よろしくお願いいたします。

《この調査に関するお問い合わせ先》

藤沢市役所 福祉部高齢者支援課 電話：0466-25-1111(内線 3281)

【はじめに】

*宛名のご本人（以下、「ご本人」といいます。）についてうかがいます。ご家族などご本人以外の方が記入される場合にも、特に指定のない限り、ご本人についてご回答ください。

【宛名のご本人様について、おたずねします。】

問1 性別をお答えください。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

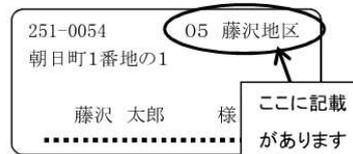
問2 年齢は何歳ですか。（2016年（平成28年）11月1日現在の満年齢）

1. 65～69歳	2. 70～74歳	3. 75～79歳
4. 80～84歳	5. 85～89歳	6. 90歳以上

問3 お住まいの地域をお答えください。（1つに○）

1. 片瀬	2. 鶴沼	3. 辻堂	4. 村岡
5. 藤沢	6. 明治	7. 善行	8. 湘南大庭
9. 六会	10. 湘南台	11. 遠藤	12. 長後
13. 御所見			

※ お住まいの地域がお分かりにならない方は、このアンケートが入っていた封筒のラベルの右上にある記載をご確認いただき、ご回答ください。



問4 家族構成をお答えください。（1つに○）

1. ひとり暮らし →問5へ	
2. 夫婦のみ(二人暮らし)	3. 二世帯同居
4. 三世帯同居	5. その他()

→問4-1 《ひとり暮らしではない方のみ（問4で「2」～「5」のいずれかを回答した方）お答えください。》

日中、ご自宅などで一人になることはありますか。（1つに○）

1. よくある	2. たまにある	3. ない
---------	----------	-------

【お住まいの状況について、おたずねします。】

問5 どのような住宅にお住まいですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1. 持ち家の一戸建 | 2. 持ち家の共同住宅(分譲マンションなど) |
| 3. 市営・県営の賃貸住宅 | 4. 公社・URの賃貸住宅 |
| 5. 民間の賃貸住宅
(アパート、借家、賃貸マンションなど) | 6. 社宅・官舎・公舎など |
| 7. 福祉施設
(養護老人ホームや有料老人ホームなど) | 8. その他 () |

問6 現在のお住まいについて、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 住宅が古くなったりいたんだりしている |
| 2. 庭の手入れが大変である |
| 3. 段差があったり、ろうかや階段に手すりがなかったりして危険である |
| 4. エレベーターの設置がなく、階段での上り下りが大変である |
| 5. トイレや浴室が使いにくい |
| 6. 住宅が広すぎて管理が大変である |
| 7. 家賃や住宅維持費などの経済的負担が大きい |
| 8. その他 () |
| 9. 特にない |

問7 介護保険制度の要介護認定を受けた場合の生活について、どのような希望をお持ちですか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1. 介護サービスを利用しながら自宅で生活したい |
| 2. 介護サービスを利用せず、家族の介護を受けながら自宅で生活したい |
| 3. 介護保険施設(特別養護老人ホームなど)や病院でサービスを受けながら生活したい |
| 4. 有料老人ホームや高齢者向けのアパートに住み替えて介護サービスを利用しながら生活したい |
| 5. その他 () |
| 6. わからない |

【健康状態について、おたずねします。】

問8 ご自分の心身の健康状態をどのように感じていますか。(1つに○)

1. 非常に健康である	2. 健康である
3. あまり健康ではない	4. 健康ではない

問9 治療や健康について相談する、かかりつけの医師、歯科医師、薬局がありますか。(それぞれ1つに○)

ア. かかりつけ医	1. いる	2. いない
イ. かかりつけ歯科医	1. いる	2. いない
ウ. かかりつけ薬局	1. いる	2. いない

【外出の状況について、おたずねします。】

問10 外出(散歩や通院も含む)はどのくらいの頻度で行っていますか。(1つに○)

1. ほぼ毎日	2. 週に3~4回程度
3. 週に1~2回程度	4. 月に1~2回程度
5. ほとんど外出しない	

▶問10-1 《問10で「1」~「4」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
外出の際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 徒歩	2. 自転車
3. バス、タクシー、電車	4. 車(自分で運転)
5. 車(家族や友人などが運転)	6. その他()

▶問10-2 《問10で「5」と回答した方にうかがいます。》
ほとんど外出しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 身体上の理由で外出が困難なため	2. 体力面に不安があるため
3. バス・電車などの乗り降りが困難なため	4. 付き添ってくれる人がいないため
5. 外出したい場所がないため	6. 人と会うのがわずらわしいため
7. 知り合いがいないため	8. その他()

【買い物の状況について、おたずねします。】

問11 あなた(ご本人)は日頃、食料品や日用品など、日常生活に必要な買い物で不便を感じることはありますか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. まったく不便を感じない | 2. あまり不便を感じない |
| 3. 多少は不便を感じる | 4. 大いに不便を感じる |
| 5. 買い物(外出)しないのでわからない | |

→ 問11-1 《**買い物で不便を感じている方のみ**(問11で「3」または「4」と回答した方)お答えください。》

その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 徒歩圏内に食料品や日用品などを買うお店がない |
| 2. 公共交通機関(バス・電車など)の利便性が悪い |
| 3. 公共交通機関(バス・電車など)の乗り降りが体力的にきつい |
| 4. 車や自転車の運転がしんどい |
| 5. 徒歩や自転車での移動が体力的にきつい |
| 6. 重たいものが持てないため1度に少量しか購入できない |
| 7. 家族等の協力がないと好きな時に買い物に行けない |
| 8. 買い物を手伝ってくれる家族や友人などがいない |
| 9. その他 () |

問12 あなた(ご本人)は、食料品や日用品など、日常生活に必要な買い物をする時、必要とする(希望する)支援やサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------|
| 1. 自宅から注文する宅配サービス |
| 2. お店で買ったものを自宅へ配達するサービス |
| 3. お店への送迎サービス |
| 4. 移動販売車・移動スーパー |
| 5. 買い物を手伝ってくれる家族や友人などの協力 |
| 6. 介護ヘルパーなどの付き添い支援 |
| 7. 公共交通機関(バス・電車など)の利便性の向上 |
| 8. その他 () |
| 9. 特に必要はない |

【同居の家族以外のお付き合いの状況について、おたずねします。】

問13 普段、同居の家族以外でどのような方とお付き合いをしたり、連絡をとりあったりしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 近所の人 | 2. 友人・知人 |
| 3. 地域のサークルや老人クラブの仲間 | 4. 親 戚 |
| 5. 別居している家族 | 6. 自治会や町内会の人 |
| 7. 民生委員 | 8. その他 () |
| 9. つきあいはほとんど無い | |

問14 普段、近隣や地域の方とお付き合いする機会はどの程度ありますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3～4回程度 |
| 3. 週に1～2回程度 | 4. 月に1～2回程度 |
| 5. ほとんどない | 6. その他 () |

【生きがい・楽しみについて、おたずねします。】

問15 (1) 現在、どのようなことに充実感や生きがいを感じていますか。また(2) 今後してみたいことはありますか。(1) (2) それぞれにお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

(1) 現在、充実感や生きがいを感じていること	(2) 今後してみたいこと
1. テレビ・ラジオ・新聞・読書	1. テレビ・ラジオ・新聞・読書
2. 家庭菜園・園芸	2. 家庭菜園・園芸
3. 手芸・陶芸等の創作活動	3. 手芸・陶芸等の創作活動
4. 運動・スポーツ・散歩	4. 運動・スポーツ・散歩
5. サークル活動	5. サークル活動
6. 習い事	6. 習い事
7. 学習や教養を高めるための活動	7. 学習や教養を高めるための活動
8. 特技や技術を活かした創作活動	8. 特技や技術を活かした創作活動
9. 仕事・就労	9. 仕事・就労
10. ショッピング・買い物	10. ショッピング・買い物
11. 旅行・レジャー	11. 旅行・レジャー
12. 友人・知人・近所とのつきあい	12. 友人・知人・近所とのつきあい
13. 町内会・自治会・子ども会などの地域活動・老人クラブ活動	13. 町内会・自治会・子ども会などの地域活動・老人クラブ活動
14. ボランティア活動	14. ボランティア活動
15. 子や孫の世話など家族との団らん	15. 子や孫の世話など家族との団らん
16. ペットの世話	16. ペットの世話
17. カラオケ	17. カラオケ
18. パソコン・インターネット	18. パソコン・インターネット
19. その他	19. その他
[]	[]
20. 特にない	20. 特にない

問16 市が生きがいづくり・社会参加に対する取り組みをすすめていくうえで、どのような支援が必要と考えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 高齢者の趣味や娯楽など、サークルなどの活動への支援
2. 高齢者が参加できるボランティア活動への支援
3. 高齢者が誰でも気軽に集まったり、活動できる施設・場所の整備
4. 高齢者の働く機会の確保
5. 高齢者が外出や社会参加しやすいような交通体系や施設の改善
6. 生涯学習環境を充実させて多くの方々が生涯を通じて学習活動を継続できるような条件の整備
7. その他 ()

問17 老人クラブ（ゆめクラブ）に加入していますか。(1つに○)

1. はい
2. いいえ

問17-1 《問17で「1」と回答した方にうかがいます。》

老人クラブ（ゆめクラブ）の活動は、どのような機会となっていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 友人との交流や外出の機会 | 2. 地域との交流の機会 |
| 3. 生きがいを得る機会 | 4. 健康増進や趣味を楽しむ機会 |
| 5. 知識や情報を得る機会 | 6. その他 () |

問17-2 《問17で「2」と回答した方にうかがいます。》

老人クラブ（ゆめクラブ）に参加しない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 活動内容に関心がないから
2. 仕事、家事、子育て、介護などが忙しく時間がないから
3. 趣味や他団体での活動で忙しく時間がないから
4. 老人クラブ（ゆめクラブ）に入るきっかけがないから
5. 老人クラブ（ゆめクラブ）に友人・知人がいないから
6. 人間関係や運営に関わるのが面倒に思えるから
7. 身近なところに活動の場がないから
8. 活動のための経済的負担が大きいから
9. 家族の支援や理解がないから
10. 老人クラブ（ゆめクラブ）がどんなところか知らないから
11. その他 ()
12. 特に理由はない

【就労の状況について、おたずねします。】

問18 現在、仕事をしていますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. している | 2. 求職中 |
| 3. していない →問19へ | 4. 身体的に仕事ができない状態 |

→問18-1 《問18で「1」または「2」と回答した方にうかがいます。》
 どのような形態で仕事をしていますか。求職中の方は、どのような形態の仕事を探していますか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1. 正社員・従業員 |
| 2. 非正規の職員・従業員 (パート、アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託等) |
| 3. 自営業主・家族従業員 |
| 4. シルバー人材センターの会員として就労・就業 |
| 5. その他 () |

→問18-2 《問18で「1」または「2」と回答した方にうかがいます。》
 仕事をしている (または探している) 理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 生活費を得るため | 2. 小遣いを得るため |
| 3. 将来の蓄え (預貯金) のため | 4. 生きがいを得るため |
| 5. 持っている技術や資格を活かすため | 6. 健康のため |
| 7. 社会と関わりを持つため | 8. 何もしないでいると退屈なので |
| 9. その他 () | |

問19 《問18で「1」～「3」のいずれかを回答した方のみにかがいます。》
 今後の働き方について、どのように考えていますか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1. 正社員・従業員として働く |
| 2. 非正規の職員・従業員 (パート、アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託等) として働く |
| 3. 自営業主・家族従業員として働く |
| 4. シルバー人材センターに会員登録して、働く |
| 5. その他 () |
| 6. 仕事はしない (辞める) |

【地域で参加している活動について、おたずねします。】

問20 現在、地域で参加している活動がありますか。(1つに○)

1. ある 2. ない →問 20-3 へ 3. わからない →問 20-3 へ

→ 問20-1 《地域で参加している活動がある方のみ (問20で「1」と回答した方) お答えください。》

現在、地域で参加している活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| 1. 町内会・自治会活動への参加 | 2. 老人クラブへの参加 |
| 3. 文化・歴史・芸術などのサークルなどへの参加 | 4. 防災・防犯活動への参加 |
| 5. 高齢者や障がい者への支援や介助に関する活動 | 6. 子育てへの支援などに関する活動 |
| 7. 自然環境の保全に関する活動 | 8. 祭りなど地域文化活動 |
| 9. 健康・スポーツ | 10. 教養や芸術に関する文化的な活動 |
| 11. 趣味・娯楽活動 | 12. NPO(民間非営利組織)などの活動 |
| 13. その他 () | |

→ 問20-2 《地域で参加している活動がある方のみ (問20で「1」と回答した方) お答えください。》

地域の活動に参加した理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------------------------|
| 1. 生活に充実感をもちたいから | 2. 自分の技術・経験を活かしたいから |
| 3. 新しい友人・知人を得たいから | 4. 健康や体力に自信をつけたいから |
| 5. 地域社会に貢献したいから | 6. その他 () |
| 7. 特にない | |

問 20-1 と問 20-2 に回答した方は、次ページの間 21 へお進みください。

問20-3 《地域で参加している活動がない方のみ (問20で「2」または「3」と回答した方) お答えください。》

今後、地域で参加したい活動はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| 1. 町内会・自治会活動への参加 | 2. 老人クラブへの参加 |
| 3. 文化・歴史・芸術などのサークルなどへの参加 | 4. 防災・防犯活動への参加 |
| 5. 高齢者や障がい者への支援や介助に関する活動 | 6. 子育てへの支援などに関する活動 |
| 7. 自然環境の保全に関する活動 | 8. 祭りなど地域文化活動 |
| 9. 健康・スポーツ | 10. 教養や芸術に関する文化的な活動 |
| 11. 趣味・娯楽活動 | 12. NPO(民間非営利組織)などの活動 |
| 13. その他 () | 14. 特にない |

問21 地域の活動に参加する上で支障となることや問題点として感じているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 地域でどのような活動が行われているか知らない | 2. 参加する時間的余裕がない |
| 3. 参加する経済的余裕がない | 4. 気軽に参加できる内容が少ない |
| 5. 近くに利用できる施設がない | 6. やりたいことが見つからない |
| 7. 同好の友人・仲間がない | 8. 活動に必要な技術、経験がない |
| 9. 健康・体力に自信がない | 10. 過去に参加したが期待はずれだった |
| 11. その他 () | 12. 特にない |

問22 お住まいの地域で何か他の人の手助けをするとしたら、どのようなことなら可能だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. ごみ出し | 2. 買い物 |
| 3. 調理 | 4. 洗濯や部屋の掃除 |
| 5. 玄関前や庭などの家まわりの掃除 | 6. 簡単な力仕事 |
| 7. 病院への送迎 | 8. 病院への付き添いや薬の受け取り |
| 9. 病院以外の外出時の送迎 | 10. 病院以外の外出時の付き添い |
| 11. 声かけ・見守り | 12. 日頃の話し相手 |
| 13. 金銭管理・書類の管理 | 14. 市役所などでの手続き |
| 15. 家電器具やパソコン等の操作 | 16. その他 () |
| 17. わからない | |

問23 町内会・自治会活動を活性化するために、ご経験やご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。

【普段の生活の中での不安や心配ごとについて、おたずねします。】

問24 日常生活の中で不安や不自由を感じることがありますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. よくある | 2. ときどきある |
| 3. ほとんどない | 4. まったくない |

問24-1 《**不安や不自由を感じることがある方のみ** (問24で「1」または「2」と回答した方) お答えください。》

不安や不自由を感じているものは、次のうちどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. ご自身や家族の健康 | 2. ご自身や家族が介護が必要になったときのこと |
| 3. 生活費など経済的なこと | 4. 金銭管理 |
| 5. 財産や資産の管理 | 6. 年金・医療・介護などの費用 |
| 7. 住まいのこと | 8. 食事 |
| 9. 掃除や洗濯などの家事 | 10. 地震・台風などの自然災害 |
| 11. 詐欺などの犯罪に巻き込まれること | 12. 独居・孤立への不安 |
| 13. 趣味や生きがいがないこと | 14. 近所との人間関係 |
| 15. 地域とのつながり | 16. 電話や会話の聞き取り |
| 17. 新聞や回覧板を読む | 18. 安定した歩行 |
| 19. 床からの立ち上がり | 20. ちょっとした段差をまたぐ |
| 21. 階段の昇降 | 22. 服や下着の脱ぎ着 |
| 23. 服のボタンを留める | 24. ペットボトルのふたを開ける |
| 25. ビンのふたを開ける | 26. 固い食材を切る |
| 27. 調理 | 28. 浴槽の出入り |
| 29. 入浴時に頭や体を洗う | 30. 間に合うようにトイレに行く |
| 31. 排泄後の処理 | 32. ごみ出し |
| 33. 草取り・庭木の手入れ | 34. 電球交換等の簡単な修理 |
| 35. 買い物 | 36. 外出 |
| 37. その他 () | 38. 特に不自由に感じることはない |

問27 市内13地区を基本として16か所（高齢者人口の多い鶴沼・辻堂・藤沢地区にはそれぞれ2か所）に設置している地域包括支援センター（いきいきサポートセンター）※1をご存じですか。（1つに○）

1. 知っていて、利用したことがある
 2. 知っているが、利用したことはない
 3. 知らない(今回の調査で知った)

※1 地域包括支援センター（いきいきサポートセンター）は、住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう、様々な方面から高齢者の方を支える機関です。主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師などが配置されており、高齢者の日常生活に関する相談を受けるとともに、必要な保健福祉サービスの利用調整など、地域の関係機関と連携し、安心して暮らせるための支援を行っています。

→問27-1 《地域包括支援センターを知っている方のみ（問27で「1」または「2」と回答した方）お答えください。》

地域包括支援センターを何で知りましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 市役所・地区福祉窓口への相談・問い合わせ
 2. 市の広報・ホームページ
 3. 市民センター・公民館などの市の施設にあるチラシ・パンフレット
 4. 民生委員からの紹介
 5. 知人・友人や近所の人からの紹介
 6. 介護サービス事業所
 7. その他（ ）

問28 今後、日常生活における相談や支援が必要になった時、地域包括支援センターを利用したいと思いませんか。（1つに○）

1. 利用したい
 2. 利用したくない
 3. わからない

→問28-1 《問28で「2」と回答した方にうかがいます。》
 その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 場所が遠く、すぐに行けないから
 2. 家族や親戚に手助けしてもらえるから
 3. その他（ ）

【認知症について、おたずねします。】

問29 もし、認知症になったとしたら、どのように暮らしたいと思いますか。(1つに○)

1. できないことを自ら工夫して補いながら、現在お住まいの地域で、今までどおり自立的に生活していきたい
2. 医療・介護などのサポートを利用しながら、現在お住まいの地域で生活していきたい
3. 身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい
4. 周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい
5. 誰にも迷惑をかけないよう、ひとりで暮らしていきたい
6. その他 ()
7. わからない

問30 もし、ご自身またはご家族が認知症になったとしたら、どのようなことに不安を感じるとと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や大切な思い出を忘れてしまうこと
2. 買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうこと
3. どこに相談すればいいかわからないこと
4. 家族に身体的・精神的負担をかけること
5. 経済的に苦しくなること
6. 必要な介護サービスを利用することができず、現在の住まいで生活できなくなること
7. 介護施設が利用できないこと
8. 外出した際に家への帰り道がわからなくなったりすること
9. 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうこと
10. 自身が仕事をやめなければならないこと
11. 家族が仕事をやめなければならないこと
12. 自身が子育てと介護の両立をしなければならないこと
13. 家族が子育てと介護の両立をしなければならないこと
14. その他 ()
15. 特に不安を感じることはない
16. わからない

問31 今後、増加が予想される認知症の人への取り組みとして、市はどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--|
| 1. 認知症への正しい知識と理解をもってもらうための啓発・情報提供 |
| 2. 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実 |
| 3. できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり |
| 4. 家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み |
| 5. 家族の仕事と介護の両立支援などを含めた、経済的負担を減らす取り組み |
| 6. 認知症の人を地域で見守る体制の充実 |
| 7. 日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実 |
| 8. 認知症の人が利用できる介護施設の充実 |
| 9. その他（ ） |
| 10. わからない |

問32 認知症サポーター養成講座※2を知っていますか。（1つに○）

- | |
|---------------------------|
| 1. 認知症サポーター養成講座を受講し、知っている |
| 2. だいたいの内容は知っている |
| 3. 名前は知っているが内容は知らない |
| 4. まったく知らない |

※2 認知症サポーター養成講座とは、認知症に関する正しい知識を持ち、地域の中で認知症の方やその家族を温かく見守るため、認知症に関する基礎知識や認知症の方への接し方などを学ぶ講座です。

→問32-1 《問32で「2」～「4」のいずれかを回答した方にうかがいます。》
認知症サポーター養成講座に参加したいと思いますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

【権利擁護について、おたずねします。】

問33 今後、認知症など、判断能力が不安になり何らかの支援が必要になった時、利用したい支援やサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 1. 成年後見制度 ^{※3} | 2. 日常生活自立支援事業 ^{※4} |
| 3. その他() | 4. わからない |
| 5. 特に利用したいサービスはない | |

※3 成年後見制度とは、認知症などの理由により判断能力が不十分な方の財産の管理、入院や施設への入所などの生活に関する契約などを、成年後見人が代理して行う制度です。なお、成年後見制度には、家庭裁判所に申し立てることにより成年後見人を選任する法定後見制度と、まだ判断能力が十分なうちに、あらかじめ後見人を決めておく任意後見制度があります。

※4 日常生活自立支援事業とは、高齢者などが安心して自立した生活が送れるように、預貯金の引き出しなどの金銭管理や福祉サービスの利用手続き、重要書類等の管理などについて、本人と社会福祉協議会との契約により行われる事業です。

→問33-1 《**成年後見制度を利用したい方のみ**(問33で「1」と回答した方)お答えください。》
成年後見制度を利用する場合、どなたに成年後見人をお願いしたいですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1. 身近な親族 | 2. 弁護士などの専門職 |
| 3. 社会福祉協議会やNPO(民間非営利組織)などの法人 | 4. 市民後見人 ^{※5} |
| 5. その他() | 6. わからない・未定 |
| 7. お願いしたい相手がいない | |

※5 市民後見人とは、事前に自治体などが行う養成研修を修了した同じ地域に住む市民で、家庭裁判所に選任された成年後見人のことです。

問34 成年後見制度や権利擁護に関する相談支援機関である「ふじさわ あんしんセンター^{※6}」をご存じですか。(1つに○)

- | |
|---------------------|
| 1. 知っていて、利用したことがある |
| 2. 知っているが、利用したことはない |
| 3. 知らない(今回の調査で知った) |

※6 ふじさわ あんしんセンターは、藤沢市社会福祉協議会が運営する、高齢者や障がい者の方などの成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用など、総合的な権利擁護に関する相談機関です。電話や窓口、訪問などによる相談のほか、毎月4回(第1～4水曜日)、弁護士、行政書士、司法書士、社会福祉士、税理士などによる専門相談も行っています。

【65歳からの健康づくり事業(介護予防事業)等について、おたずねします。】

問35 市で実施している介護予防に関する講演会・講座や地域での住民主体の介護予防実施の場に参加したことがありますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 参加したことがある | 2. 知っているが、参加したことはない |
| 3. 知らない(今回の調査で知った) | |

→問35-1 《**参加したことがある方のみ**(問35で「1」と回答した方)お答えください。》
次のうち、参加したことがある講座や講演会、事業は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 運動に関する講座 [ロコモ予防チャレンジ講座] |
| 2. 認知症予防に関する講座 [認知症予防講座、認知機能アップ教室] |
| 3. 介護予防全般に関する講座 [元気はつらつ健康講座] |
| 4. 介護予防に関する講演会 [介護予防講演会] |
| 5. 住民主体の介護予防実施の場 [高齢者生きがい対応型デイサービス(～9月)、
高齢者の通いの場(10月～)] |
| 6. その他 () |

問36 介護予防に関して、今後、市に力を入れてほしいことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 生活習慣病の予防 | 2. 室内体操 |
| 3. 水中運動 | 4. ウォーキング |
| 5. 食生活(栄養など)の改善 | 6. 認知症予防 |
| 7. 口腔機能(のみこみ・かむこと)の向上 | 8. 高齢期のうつ予防 |
| 9. 誰もが気軽に集える場 | 10. 個別に相談できる場 |
| 11. その他 () | |

【介護予防・日常生活支援総合事業の検討のために、おたずねします。】

問37 交流できる通いの場として、どのようなものがあれば通いたいと思いますか。現在通っているものも含めてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------|
| 1. 交流サロン、コミュニティ・カフェ |
| 2. 食事会 |
| 3. 趣味活動・サークル活動の場 |
| 4. 習い事 |
| 5. 運動・スポーツに関する講座・講演会 |
| 6. 文化・教養に関する講座・講演会 |
| 7. 健康づくり・介護予防に関する講座・講演会 |
| 8. その他 () |
| 9. 特に通いたいとは思わない |

問37-1 《問37で「1」～「8」のいずれかを1つ以上選択した方にうかがいます。》
上記のような通いの場に、自宅からご自身で通うことはできますか。(1つに○)

- | | |
|--------|-----------------------|
| 1. できる | 2. できない →問37-2、問37-3へ |
|--------|-----------------------|

問37-1-1 《問37-1で「1」と回答した方》
自宅から通いの場まで、どのくらいの移動時間なら通いたいと思いますか。また、その際の主な移動手段もお答えください。

(1)移動時間	()分くらい								
(2)主な移動手段 (1つに○)	<table border="0"> <tr> <td>1. 徒歩</td> <td>2. 自転車</td> </tr> <tr> <td>3. バス</td> <td>4. 電車</td> </tr> <tr> <td>5. 車(自分で運転)</td> <td>6. 車(自分以外が運転)</td> </tr> <tr> <td>7. その他の手段 ()</td> <td></td> </tr> </table>	1. 徒歩	2. 自転車	3. バス	4. 電車	5. 車(自分で運転)	6. 車(自分以外が運転)	7. その他の手段 ()	
1. 徒歩	2. 自転車								
3. バス	4. 電車								
5. 車(自分で運転)	6. 車(自分以外が運転)								
7. その他の手段 ()									

問37-2 《問37-1で「2」と回答した方》
ご自身で通えない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 身体上の理由で外出が困難なため | 2. 体力面に不安があるため |
| 3. バス・電車などの乗り降りが困難なため | 4. 付き添ってくれる人がいないため |
| 5. 移動手段がないため | 6. その他 () |

問37-3 《問37-1で「2」と回答した方》
どのような支援があれば通えると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 移動支援(自宅の玄関から外出先までの送迎) |
| 2. 移動支援(決まった場所に集合して外出先まで送迎) |
| 3. 外出の介助 |
| 4. その他 () |

【高齢者いきいき交流助成券について、おたずねします。】

問38 高齢者いきいき交流助成券^{※7}をご利用になっていますか。(1つに○)

- 1. 利用しており、今後も利用したい
- 2. 利用しているが、今後は利用しない
- 3. 利用していないが、今後、利用したい
- 4. 利用していないし、今後も利用しない
- 5. 70歳未満のため、対象外

※7 高齢者いきいき交流助成券とは、70歳以上の本市に住民登録のある方で申請のあった方に対し、高齢者の健康増進と介護予防を図るために交付している助成券で、現在、次の施設で利用できます。市指定はり・きゅう・マッサージ治療院、市内公衆浴場3か所、いきいきシニアセンター3か所(浴室・マッサージ室利用のみ)、公設スポーツ施設(秩父宮記念体育館、鶴沼(八部)運動施設、秋葉台運動施設、石名坂温水プール)及び保健医療センタートレーニング室等。

→問38-1 《利用していない方(問38で「4」と回答した方)お答えください。》
その理由は何ですか。(ご自由にご記載ください。)

問39 高齢者いきいき交流助成券の利用対象施設等について、どのようなものがあると思いますか。(ご自由にご記載ください。)

【敬老事業について、おたずねします。】

問40 敬老会^{※8}に参加したことがありますか。(1つに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 参加したことがある |
| 2. 参加したことはない |
| 3. 83歳未満(2016年(平成28年)9月15日現在)のため、対象外 |

※8 敬老会は、毎年、敬老月間となる9月に、市と地区社会福祉協議会との共催で、9月15日時点で83歳以上の本市に住民登録のある方を対象に、高齢者の長寿を祝い、高齢者福祉の増進及び敬愛思想の高揚を目的とし、式典及び演芸を主として、地区ごとに開催しております。

→ 問40-1 《参加したことがない方のみ(問40で「2」と回答した方)お答えください。》
その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 身体上の理由で外出が困難なため | 2. 別の用件があった |
| 3. 一緒に参加する知り合いがない | 4. 魅力を感じない |
| 5. 開催していることを知らない | 6. 開催場所が遠い |
| 7. その他 () | |

問41 今後、敬老会に参加したいと思いませんか。(1つに○)

- | | | |
|----------|------------|----------|
| 1. 参加したい | 2. 参加したくない | 3. わからない |
|----------|------------|----------|

問42 敬老会の開催場所はどのような場所がふさわしいと思いませんか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 市民会館(貸切バスで行く) | 2. 市民会館(各自で行く) |
| 3. 市民センター | 4. 自治会館・市民の家など |
| 5. その他 () | |

【高齢者に対する施策(サービスや事業など)について、おたずねします。】

問43 市が実施している高齢者に対する施策(サービスや事業など)に関する情報をどのような方法で入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 家族や親族 | 2. 知人・友人や近所の人 |
| 3. 民生委員 | 4. 町内会・自治会の回覧 |
| 5. 市役所・地区福祉窓口 | 6. 市の広報・ホームページ |
| 7. 社会福祉協議会(地区社会福祉協議会を含む) | 8. 地域包括支援センター |
| 9. 病院・診療所 | 10. 介護サービス事業所 |
| 11. 特に入手していない | 12. その他() |

問44 今後、高齢者に対する施策は、どのような事業などを優先的に進めていく必要があると考えますか。(3つに○)

- | |
|--|
| 1. 高齢者や家族・介護者が気軽に相談できる体制 |
| 2. 高齢者世帯などの安否確認をはじめとする地域での見守り支援体制 |
| 3. 24時間365日、緊急時に連絡ができる体制 |
| 4. 認知症高齢者やその家族に対する支援 |
| 5. 高齢者に対する虐待防止についての対策の推進 |
| 6. 健康づくりや介護予防に関する事業 |
| 7. 高齢者の生涯学習活動や交流の場の提供など、生きがいづくりへの支援 |
| 8. 高齢者の社会参加への支援〔ボランティア活動、シルバー人材センターなど〕 |
| 9. 高齢者が在宅生活を継続するための福祉サービス〔昼食の配食、紙おむつの支給など〕 |
| 10. 要介護認定を受け、自宅で生活しながら利用できる介護保険サービス〔訪問介護(ホームヘルプサービス)、通所介護(デイサービス)など〕 |
| 11. 要介護認定を受け、介護を受けながら生活する施設〔特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など〕 |
| 12. その他() |
| 13. 特になし |

問45 問44にあるようなサービスを利用するにあたって、一定の利用者負担を支払うことについて、どのようにお考えですか。(1つに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 利用者負担が今より増えても、サービスを充実させたほうがよい |
| 2. 利用者負担もサービスも現状の程度でよい |
| 3. サービスの水準を今より抑えても、利用者負担が低くなるほうがよい |
| 4. その他() |
| 5. わからない |

【介護保険制度について、おたずねします。】

問46 介護保険料について、どのように感じていますか。(1つに○)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 高く感じる | 2. やや高く感じる |
| 3. 妥当である | 4. 安いと感じる |
| 5. その他 () | 6. わからない |

<参考>第6期基準月額介護保険料 藤沢市4,700円 神奈川県平均5,465円 全国平均5,514円

問47 介護保険料は介護サービスの費用にあてられるため、藤沢市全体のサービスの利用が多くなると保険料も高くなります。このことについて、どのように考えますか。

(1つに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 介護サービスが充実するならば、保険料が高くなるのはやむを得ない |
| 2. 介護サービスは現在の保険料でまかなえる範囲でよい(現状維持) |
| 3. 介護サービスが多少不足しても、保険料は安いほどよい |
| 4. その他 () |
| 5. わからない |

【災害時の避難支援について、おたずねします。】

問48 地震などの災害時に避難する際、どなたかの支援を必要としますか。(1つに○)

- | |
|------------------------|
| 1. 支援を必要とする |
| 2. 今は必要ないが、将来的には必要だと思う |
| 3. 支援は必要としない |
| 4. その他 () |

▶問48-1 《**支援を必要とする方のみ** (問48で「1」または「2」と回答した方) お答えください。》

避難する際に支援をしてもらいたい相手はどなたですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------|
| 1. 家族や親戚 |
| 2. 友人・知人や近所の人 |
| 3. 自治会や町内会の人 |
| 4. 民生委員 |
| 5. ボランティアの人 |
| 6. 地域包括支援センターの人 |
| 7. 介護サービス事業所の職員 |
| 8. 病院・診療所の医師・看護師など |
| 9. その他 () |
| 10. わからない |

高齢者の保健・福祉に関する調査
報告書

平成29年3月

発行：藤沢市 福祉部高齢者支援課
〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1
電話：0466-25-1111（代表）